

科目 (広聴費)

1 / 1 ページ

使用日付	使用時間	施設	内容	料金(円)
2024/11/05	13:00~16:30	4 0 1 室	施設使用料	2,080
			合計 (税込)	2,080
消費税	10%	対象項目計 (税抜)	1,891	消費税額
				189

領収書

日本共産党 蕨市議会 様

〔証紙切手引受〕
第一種定形外(規格内) 65.0g
@180 1通 ¥180

小 計 ¥180

第一種定形外(規格内) 61.0g
@180 1通 ¥180

小 計 ¥180

郵便物引受合計通数 2通
課税計(10%) ¥360
(内消費税等(10%) ¥32)
非課税計 ¥0

合計 ¥360
お預り金額 ¥400
おつり ¥40



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 [REDACTED]
取扱日時: 2024年10月15日 17:46
発行No. [REDACTED] 端N56箱02
連絡先: 蕨郵便局
TEL: 0570-090-436

2

領収書

日本共産党 蕨市議会 様

〔販売〕
110円普通切手・千鳥
110円 5枚 ¥550

小 計 ¥550

課税計(10%) ¥0
(内消費税等(10%) ¥0)
非課税計 ¥550

合計 ¥550
お預り金額 ¥1,050
おつり ¥500



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 [REDACTED]
取扱日時: 2024年12月24日 12:56
発行No. [REDACTED] 端N56箱02
連絡先: 蕨郵便局
TEL: 0570-090-436

3

市民の声を予算要望に生かしたい～日本共産党市議団の市政懇談会

日本共産党蕨市議団は、2025年度予算編成に向けた要望書の検討をすすめるとともに、市民の要求を反映させるために市民や市内で活動する団体との懇談を行ってきました。

11月5日に市民会館を会場に行われた市政懇談会には、全日本年金者組合蕨支部、川口民主商工会、蕨市平和を守る会、埼玉土建蕨戸田支部、社会保障をよくする蕨の会、蕨地区労働組合協議会などの団体や障がい者の要求実現に取り組んでいる市民などが参加しました。

冒頭、鈴木さとし党市議団長があいさつに立ち、今年度予算では高齢難聴者への補聴器購入補助金など多くの要望が実現し喜ばれていることを紹介。同時に、引き続き物価高騰や国の悪政の影響は深刻と述べ、暮らしを支えるあったか市政をさらに前進させるためにも、要望や思いなど率直に話していただきたいと語りました。

その後、参加者からは意見や要望が発言され、市議団からもこの間の取り組みや方針委などについて説明を行いました。

最後に、山脇紀子市議から、今日の懇談会に限らず、要望や意見は絶えず受け付けていること、市民と力を合わせて実現を目指すことなどが表明され、懇談会は終了しました。

以下、この日の懇談会での発言について主な内容を紹介します（順不同）。

◆国が入所施設を増やさない方針をとる下で、重度の障害を持つ子どもを育ててきた親の不安や悩みは高齢化によりさらに深刻。入所施設など暮らしの場の整備は待ったなし。重度の障害に対応したグループホームの検討も含め必ず実現を。

◆公共工事での公正な労働条件などを定める公契約条例を実現してほしい。建設業界でも週休2日制など労働改革への対応も大切。土建国保の補助継続を望む。◆敬老祝金は現行のまま継続してほしい。高齢難聴者への補聴器購入補助金はありがたかったが、国に補聴器への保険適用を要望してほしい。また年金制度の改悪に反対し充実を求めていくことも重視してほしい。

◆自衛官募集事務と蕨市のかかわりについて意見がある。また、総合防災演習での自衛隊車両の展示はやめてほしい。

◆蕨で国保税が引き上げられたのは県や国の方針の影響だが重大な問題。せめて子どもの均等割りをゼロにするなどの対応を。

◆地域事業者の経営を支援するうえで、織りなすクーポンを再び実施すること、リフォーム助成などを拡充することを要望する。

◆物価高騰は深刻。対策を重視してほしい。

◆介護では基本報酬見直しの影響が深刻。特に在宅介護を支える地域の事業者が存続できるよう対策を。

◆民間保育園も含めた保育士の確保とともに処遇改善の取り組みをしてほしい。

◆教員の多忙化への対応にかかわり「未配置未補充の根絶」を強く要望する。

民主わらび

第2122号
2024年11月17日
日本共産党藤市委員会
TEL 443-8332
FAX 444-6531

生活相談はどうぞ
鈴木 智 444-6957
山崎 紀子 446-3129
武下 涼 443-8332

市民の声を来年度予算要望に生かしたい

日本共産党藤市議団の市政懇談会

日本共産党藤市議団は、2025年度予算編成に向けた要望書の検討をすすめるとともに、市民の要求を反映させるために市民や市内で活動する団体との懇談を行ってきました。

5日に市民会館を会場に行われた市政懇談会には、全日本年金者組合藤支部、川口民主商工会、藤市平和



を守る会、埼玉土建藤戸田支部、社会保障をよくする藤の会、藤地区労働組合協議会などの団体や障がい者の要求実現に取り組んでいる市民などが参加しました。

冒頭、鈴木党市議団長があいさつに立ち、今年度予算では高齢難聴者への補聴器購入補助金など多くの要望が実現し喜ばれていることを紹介。同時に、引き続き物価高騰や国の悪政の影響は深刻と述べ、くらしを支えるあつたか市政をさらに前進させるためにも、要望や思いなど率直に話していただきたいと語りました。

その後、参加者からは意見や要望が発表され、市議団からもこの間の取り組みや方針などについて説明を行いました。

最後に、山崎市議から、今日の懇談会に限らず、要望や意見は絶えず受け付けていること、市民と力を合わせて実現を目指すことなどが表明され、懇談会は終了しました。

以下、この日の懇談会での発言について主な内容を紹介します(順不同)。

◆国が入所施設を増やすなどの方針をとる下で、重度の障害を持つ子どもを育ててきた親の不安や悩みは高齢化によりさらに深刻。入所施設など暮らしの場の整備は待ったなし。重度の障害に対応したグループホームの検討も含め必ず実現を。

◆公共工事での公正な労働条件などを定める公契約条例を実現してほしい。建設業界でも週休2日制など労働改革への対応も大切。土建国保の補助継続を望む。

〈2面へつづく〉

〈1面からのつづき〉

◆敬老祝金は現行のまま継続してほしい。高齢難聴者への補聴器購入補助金はありがたかったが、国に補聴器への保険適用を要望してほしい。また年金制度の改善に反対し充実を求めていることも重視してほしい。

◆自衛官募集事務と藤市のかわりについて意見がある。また、総合防災演習での自衛隊車両の展示はやめてほしい。

◆藤で国保税が引き上げられたのは県や国の方針の影響だが重大な問題。せめて子どもの均等割りをゼロにするなどの対応を。

◆地域事業者の経営を支援するうえで、織りなすクーポンを再び実施すること、リフォーム助成などを拡充することを要望する。

◆物価高騰は深刻。対策を重視してほしい。

◆介護では基本報酬見直しの影響が深刻。特に在宅介護を支える地域の事業者が存続できるよう対策を。

◆民間保育園も含めた保育士の確保とともに処遇改善の取り組みをしてほしい。

◆教員の多忙化への対応にかかわり「未配置未補充の根絶」を強く要望する。



食品ロス削減を減らそう 藤市環境フォーラムが開催

10月30日、藤市と市公衆衛生推進協議会が共催する藤市環境フォーラムが行われました。日本共産党市議団から山崎紀子議員が参加しました。

主催者として、頼高英雄市長と阿部恒男公衆衛生推進協議会会長があいさつ。頼高市長は、衛生センターのごみ焼却炉の延命化工事を行い発電された電力は7264万円(557万5千)の収益となっていること、太陽光発電の設備の設置補助金を拡充し79件の申請があったこと、シェアサイクル事業は1か月で4800人が利用していることなどを紹介し、コンパクトなまちづくりをめざすラルのまちづくりをめざす



の発信やエコぐるめ事業、九都県市が一括に普及啓発にとりくんでいることを紹介。最後に食品ロスの削減はひとりひとりの協力が必須不可欠であり、できることから始めてみようと呼びかけました。

市の担当職員から昨年5月と11月に行われた市内での食品ロス実態調査について報告があり、もやすごみ

として環境問題への一層の協力を呼びかけました。続いて、「食品ロスを減らそう」をテーマに埼玉県資源循環課の阿久津愛氏が講演しました(写真)。

阿久津氏は食品ロスとは「本来食べられるのに捨てられてしまう食品」のことと環境に悪影響を及ぼすと説明。日本での食品ロスの現状と削減に関する取り組み、家庭でできることを詳しく話し、ローリングストック(古いものから消費し消費した分だけ買い足すこと)を実践することや賞味期限(おいしく食べることができきる期限)がすぎたからとすぐに捨てることをしないことなど提案。埼玉県の取組として食品ロス取り組みの発信やエコぐるめ事業、九都県市が一括に普及啓発にとりくんでいることを紹介。最後に食品ロスの削減はひとりひとりの協力が必須不可欠であり、できることから始めてみようと呼びかけました。

に含ま
3%、
その結
で出す
グラム
ラム)
ました
食品
健康
社会に
を増
し、
健康
への
「場
処方
連携